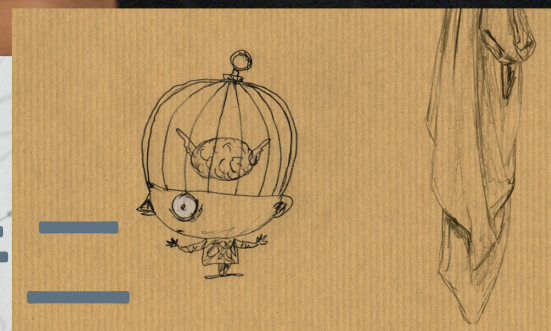




アニメーション作家 山村浩二

Koji Yamamura Retrospective



国立映画アーカイブ

小ホール [地下1階]

定員=151名(各回入替制・全席指定席) | 各回の開映後の入場はできません。

2023年8月11日金祝 — 27日回

*金・土・日曜のみ

主催: 国立映画アーカイブ

協力: ヤマムラアニメーション有限公司

チケット料金

一般: 520円 / 高校・大学生・65歳以上: 310円 / 小・中学生: 100円 /

障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブの
キャンパスメンバーズ・未就学児・優待: 無料



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan



国立映画アーカイブは長瀬映像
文化財団の支援を受けています。
上映会番号463

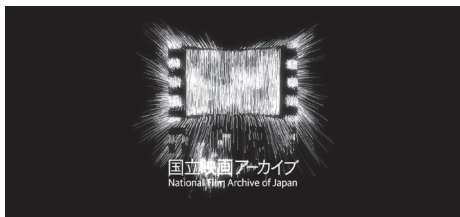


小ホール
上映作品アニメーション作家 山村浩二
Koji Yamamura Retrospective

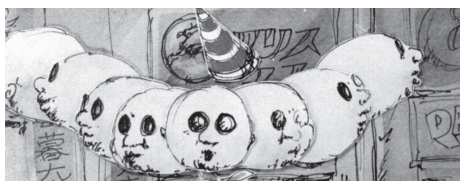
2002年『頭山』によりアヌシー国際アニメーション映画祭でクリスタル(最高賞)を受賞、つねに異なるメディア、異なる技法、異なるフィールドを行き来し、自由奔放で詩情あふれる作品群を送り出してきたアニメーション作家・山村浩二。学生時代から「アニメーションとは何か」という映像の根本を探究するとともに、山村は自らの「手」で1コマ1コマの絵・画を創造し、その膨大な積み重ねによってアニメーションの表現領域を拡張し続けてきました。

本特集は、国立映画アーカイブが山村浩二監督から学生時代以降のフィルム原稿の多くを受贈したのを機に、世界初の一般公開となる最初期の短篇から最新作『幾多の北』(2021)まで、山村監督のフィルムグラフィック全体を多面的に振り返る回顧上映です。40年をこえるキャリアを年代ごとに分けけた6プログラム、47作品の上映でその足跡を振り返り、山村作品の過去・現在・未来を照らし出します。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

■ 監督・演出 ④ 原作・原案 ⑤ 脚本・脚色
⑥ 撮影 ⑦ アニメーション・動画 ⑧ 美術
⑨ 音楽 ⑩ 出演 ⑪ 声の出演 ⑫ 解説・ナレーション



Archive of Lights (作者 山村浩二)



Ding Dong

I 8/12(土)13:30 8/19(土)16:40 8/25(金)16:40

1979-80年代—学生時代(計103分)

山村が中学、高校、大学時代に自主制作したアニメーションと実写映画。東京造形大学の卒業制作『水棲』以後、ムクオスタジオに勤めながら自主制作した作品を含む。中高時代は8mmで制作、大学在学中以降に16mmによる制作を行った。

台所会議(2分・DCP・カラー)

インスタントコーヒー、ヤカン、コーヒーカップ、茶碗たちが、誰がリンゴを食べるかテーブルで会議している。最後にリンゴ自身が「俺は俺のものだ」と主張して自分自身を食べ、消えてしまう。

1979 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫

オーム博士星へ行く(22分・DCP・カラー)

帆船型の宇宙船で空の眠る惑星を目指すオーム博士一行が、怪物たちと戦いを繰り広げる奇想に満ちた人形アニメーション。山村が高校2年生の頃に制作を始め、東京造形大学入学後に完成した。

1984(プラこうじ娯楽漫画映画会社) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫

Fig.II(5分・DCP・無声・カラー)

山村が大学在学中に野外パフォーマンスのために制作した実験映画で、自身の体に投影された。映像と行為、現実と内的現実をつなげる試みである。

1984 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫

お屋(16分・DCP・カラー)

夢の中で犯した殺人は果たして現実だったのか。耽美的かつ退廃的な実写映画。

1985 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ ウィレム・プロイカー ⑤ 古川琢治、地縛霊、小泉風太郎、鶴田貞代

月光(2分・DCP・無声・カラー)

月の光を浴びて変身していく奇妙な身体。鏡を使ってシンメトリックに身体を変形させる実験映画。

1985 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 西田太

小夜曲(4分・DCP・カラー)

人食い卵をペットにしている男が、夜な夜な、バーの女や弾き語りの老人を卵に食べさせると、卵は日に日に大きくなる。獲物がいない夜、卵は…。月と骸骨の詩情に、退廃的雰囲気を感じた半立体の人形アニメーション。

1985 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 土谷賢司、杉本英輝、北山理子、上野東声

博物誌(2分・DCP・カラー)

イシュ・パテルの『死後の世界』(1978)に刺激を受け、プリノウスの『博物誌』に想を得て制作された。中世ヨーロッパの虚実入り乱れた生物たちが、透過光上のプラスチック粘土により描かれ形態変化する。

1985 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ ウィレム・プロイカー

上を向いて…(1分・DCP・カラー)

上を向いているはずが…。『博物誌』と同じく透過光上の粘土により描かれたアニメーション。

1985 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 山村浩二

淡水(4分・DCP・カラー)

深夜の電車で深い眠りにつく青年。ガラスに囲まれた車内が水槽になり、そこに様々な淡水生物が過去の記憶とともに現れては消えてゆく。半立体の人形と、銀箔を貼った切り紙アニメーション。

1986 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ やまむら浩二

Ding Dong(2分・DCP・カラー)

クリスマス上映会向けに制作された切り紙アニメーション。サングラスをかけた男がプレゼントの箱を抱えて街を歩いていると、不可解な人々と出会う。最後に箱が開くと中から…。

1987 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ ウィレム・プロイカー

天体譜(2分・DCP・カラー)

星座をモチーフに、天と地、森羅万象がメタモルフォーゼする。トレーシングペーパーにドローイングされた繊細な描線が生み出すアニメーション。

1987 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ やまむら浩二

ひゃっかずかん Japanese-English Pictionary

(12分・DCP・カラー)

日本語は「あ」から「ん」、英語は「A」から「Z」まで、日英同時にしりとりが展開される。言葉にあわせて絵が様々な技法とともに変化してゆく、アニメーション技法の「百科図鑑」でもある。

1989 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ やまむらこうじ ⑤ くるさわじゅん

世紀末ヴォ〜ドヴィルショ〜フランケン
ゴーズ+トゥ〜ハリウッド

(3分・DCP・無声・カラー)

山村が当時住んでいた千歳鳥山の街をコマ撮りで撮影。タイトルはアキ・カウリスマキ監督『レニングラード・カウボーイズ・ゴー・アメリカ』(1989)のパロディである。

1989-90頃 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 山村浩二

アニメーション断片集

(17分・DCP・一部音声あり・カラー)

1988年に過去作の断片を集めて制作された『断片集第一集』とN.G.集に、『遠近法の箱』(1990)完成前年の貴重なビデオコンテまでが収録されている。

1988-89 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 山村浩二

水棲(5分・16mm・カラー)

小川のせせらぎ、流れるリンゴ、水に映った空の中、自分自身の影がメタモルフォーゼし、無数の魚の幻影が現われ消える。大学の卒業制作である本作もまた透過光上の粘土により描かれている。

1987 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 黒澤潤

月の小壘(4分・16mm・カラー)

バス停で待つ少年が夢想する月、ラムネの壘、骨、硬質な物質の諸関係が、切り紙、粘土、ドローイングなどミクストメディアの技法で描かれる。

1988 ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ やまむらこうじ ⑤ くるさわじゅん

全回とも『台所会議』の上映前に山村浩二監督による解説(約5分)があります。なお『アニメーション断片集』上映中に山村監督による実況解説が付くのに加え、上映後に山村監督によるトーク(約30分)があります。

2 8/11(金)13:30 8/20(日)13:30

1990年代

—こどものためのアニメーション(計84分)

山村はムクオスタジオ退社後にフリーランスを経て、1993年にヤマムラアニメーションを設立。主にこども向けのTVやビデオパッケージ作品を制作した。35mmや業務用ビデオによるコマ撮り撮影を開始し、『バクシ』からは素材の加工にMacを使用した。『パベルの本』以降は全篇をデジタルファイルで出力し始めた。

パベルの本 Bavel's Book(5分・16mm・カラー)

幼い兄妹はバス停で古い本を拾って幻想的な世界にいきなされる。J・L・ボルヘスの『幻獣辞典』からインスパイアされた作品。NHK教育テレビ「プチプチ・アニメ」にて放送された他、多くの海外映画祭で上映された。

1996(ヤマムラアニメーション) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 山村浩二 ⑤ シジジーズ ⑥ 並木嵩見、牧野由依

ふしぎなエレベーター(8分・DCP・カラー)

マンションに住む少年は、ある朝いつものように地上に降りようとエレベーターに乗ったところ、不思議な地底世界に迷いこむ。柔らかな描線と優しい色調による、ささやかな冒険ファンタジー。

1991(日映プロダクション) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 小林史郎 ⑤ 映社 ⑥ 黒澤潤

バクシ(20分・DCP・カラー)

NHK教育テレビの幼児向け番組「おかあさんといっしょ」内で放送された全18話の短篇クリエイティブアニメーション。イルカが進化した生き物バクシと家族たちの日常がユーモラスに繰られる。

1994-95(NHKエデュケーショナル=ドウス=ヤマムラアニメーション) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 山村浩二 ⑤ 秋吉信幸 ⑥ シジジーズ ⑦ 須藤隆彦 ⑧ 堀内洋子、冷水ひとみ、山村佑理

ジュビリー Jubilee(6分・DCP・カラー)

中村一義の楽曲「ジュビリー」のミュージックビデオ。はじめて全篇がデジタルペイントで彩色された作品。シンプルな線描アニメーションがパープル系の際立つ躍動感ある色調で展開される。

Licensed by USM JAPAN, A UNIVERSAL MUSIC COMPANY

1999(ヤマムラアニメーション) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 山村浩二 ⑤ 中村一義

遠近法の箱 博士のさがしもの
(4分・35mm・カラー)

博士が双眼鏡でいくら探しても、謎の生物は見つからない。加工した写真、動画、立体物などをコラージュし、マルチプレーンの線画台上で奥行きを与えることで凝縮した空間表現に挑戦している。

1990(日本国際映画著作権協会) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 秋吉信幸 ⑤ 上野耕路

カロとピョブト おうち

(4分・35mm・カラー)

冬、鳥のカロとピョブトは大樹の前に降り立ち、木の上に家を作る。NHK教育テレビのミニ番組「プチ・クレイ」で放送されたクリエイティブアニメーションのシリーズの一篇で、国内外の映画祭でも高く評価された。

1992(NHK) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 秋吉スタジオ ⑤ シジジーズ ⑥ 高橋桃太、冷水ひとみ

カロとピョブト サンドイッチ

(4分・35mm・カラー)

春、カロとピョブトはサンドイッチを作る。ピクニックに出かけた2人の前に現れたのは…。

1992(NHK) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 秋吉スタジオ ⑤ シジジーズ ⑥ 高橋桃太、冷水ひとみ

カロとピョブト あめのひ

(4分・35mm・カラー)

雨の中を泳いでいるサカナを見たカロは、ピョブトに話すが信じてもらえない。口論のようにして語り合う2人の間で、イメージが広がっていく。

1992(NHK) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 秋吉スタジオ ⑤ シジジーズ ⑥ 高橋桃太、冷水ひとみ

キッズキャッスル Kids Castle

(5分・35mm・カラー)

こどもが遊ぶ空想の世界を線描アニメーションで繰り広げ、ボイス・パフォーマンスによる音楽が付けられている。

1995(こどもの城=ヤマムラアニメーション) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 秋吉信幸 ⑤ 須藤隆彦

キップリングJr. Kipling Jr.(14分・35mm・カラー)

動物キャラクターによる叙情豊かな物語。父母と暮らすキップリングは、ログたちトリオの奏でる音色に誘われ街へ出かける。人形を特殊な処理で動画にする新しい技法を用いた。

1995(こどもの城=ヤマムラアニメーション) ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ④ 秋吉スタジオ ⑤ シジジーズ ⑥ 冷水ひとみ、野口良子

どっちにする?(10分・35mm・カラー)

ワニのラウルは虫歯で髪もボサボサだが、歯医者か散髪屋か、どちらも行かないかで思い悩む。「ジュニア・ディレクターズ」のワークショップを通じて日米のこどもたちのアイデアを取り入れながら完成した。

1999(ヤマムラアニメーション) 監 美 編 美 やまむら浩二 監 ジュニア・ディレクターズ 須藤隆

3 8/13(日)13:30 8/18(金)16:40 8/25(金)14:00 8/27(日)16:30

2000年代

—大人が楽しむ短篇アニメーション(計56分)

学生時代以来の自主制作となった『頭山』に続き、山村は大人が楽しむ短篇をコンスタントに制作。業務用ビデオによるコマ撮り撮影やデジタルファイルで出力したマスター素材から35mmへ媒体変換し、映画祭上映や一般劇場で商業上映を行うようになる。『年をとった鱉』は初のハイビジョン制作である。

頭山(10分・35mm・カラー)

古典落語をもとにした作品で、アカデミー賞短篇アニメーション部門にもノミネートされた。サクランボを種ごと食べた男の頭に桜の木が生え、花見客がやって来る。煩わしく思った男は桜の木を抜くが…。

2002(ヤマムラアニメーション) 監 美 編 美 2DCG 在上 山村浩二 監 米村正二 監 荒井知恵 2DCG 在上 山村早苗、矢田美帆 監 三味線 監 日本武春 監 シジジーズ

年をとった鱉【日本語音声版】The Old Crocodile(13分・35mm・カラー)

レオポルド・ショヴァーの児童文学を忠実にアニメーション化した作品。餌を取れなくなった年寄りの鱉は、空腹から赤ちゃん鱉を食べてしまう。一族から追放された鱉は、一匹の牝鱉と親しくなる。

2005(ヤマムラアニメーション) 監 美 編 作 画 編 美 デジタルエフェクト 山村浩二 監 レオポルド・ショヴァー 監 荒井知恵 監 ビーター・バラカン

カフカ 田舎医者(21分・35mm・カラー)

フランツ・カフカの短篇小説を映画化。田舎町の医者が急病患者の知らせを受け、患者のもとへ向かうとすがるが…。声の出演陣に狂言師の茂山一家を迎え、狂言の口跡や間合いとアニメーション表現の融合が試みられている。

2007(ヤマムラアニメーション) 監 美 編 原 画 絵 コンラウ(キャラクターデザイン) 監 美 編 編 美 2Dアニメーション(在上) 山村浩二 監 フランツ・カフカ 監 荒井知恵、吉田理恵 2Dアニメーション(在上) 山村早苗、中田彩都 監 冷水ひとみ 監 茂山千作、茂山茂、茂山童司、茂山七五三、金原ひとみ、茂山逸平

こどもの形而上学(5分・35mm・カラー)

こどもをモチーフとした奇想天外なイマジネーションが連続されていくなかに、人間の生育にまつわる可笑しみや悲しみが浮かび上がってくる。

2007(ヤマムラアニメーション) 監 美 編 原 画 絵 コンラウ(キャラクターデザイン) 監 美 編 編 美 山村浩二 監 セルゲイ・プロコフィエフ

おまけ(2分・DCP・カラー)

2003年に開催された短篇作品の特集上映「ヤマムラアニメーション図鑑」のために制作した作品。9つのプチ・アニメーションから構成されている。

2003(ヤマムラアニメーション) 監 山村浩二 監 北里玲二

無花果 Fig(5分・DCP・カラー)

16人の作家によるオムニバス・アニメーション『Tokyo Loop』の一篇。窓から見える都会の夜景が人物となり、月の目から涙を流す。不思議な彷徨の末に、やがて夜が明けると…。

2006(ヤマムラアニメーション) 監 美 編 美 デジタルエフェクト 山村浩二 監 荒井知恵 監 デジタルエフェクト 山村早苗 監 山本精一



マイブリッジの糸

© 2011 National Film Board of Canada / NHK / Polygon Pictures

4 8/12(土)17:00 8/20(日)16:30 8/26(土)16:30

2010年代

—短篇アニメーションの多様性(計86分)

山村は東京藝術大学で教鞭を執る傍ら、既存のモチーフを拡張し、ナラティブの可能性を探求する。『マイブリッジの糸』で初の海外共同制作を行い、『サティの「パレード」』では初めて4Kのシネマスコープでの制作に取り組んだ。この時期の短篇9本をオムニバス形式で『山村浩二 右目と左目でみる夢』(2017)にまとめ、DCPで劇場公開を行った。

マイブリッジの糸 Myrbridge's Strings(13分・35mm・カラー)

19世紀のアメリカで馬の連続撮影を成功させたマイブリッジと、21世紀の日本で娘の成長を見守る母親。過ぎ去る瞬間と永遠を欲する欲望とを交錯させながら「時間」について問いかける。

2011(カナダ国立映画制作庁=NHK=ポリゴン・ピクチュアズ) 監 美 編 原 画 山村浩二 監 ノルマン・ロジェ、ピエール・イブ・ドラボ、ドゥニ・シャルトラン

鶴下絵和歌巻(2分・DCP・カラー)

俵屋宗達の「鶴下絵和歌巻」が想起させるムービング・イメージから着想を得た短篇。絵巻の鑑賞者の視線を擬人化して右から左へ移動するカメラの動きとともに鶴の群れが優雅に舞いはばたかす。

2011(ヤマムラアニメーション) 監 原 画 彩色 山村浩二 元 俵屋宗達 監 中田彩都、田中美妃

古事記 日向篇(12分・DCP・カラー)

NHKのTV番組用に制作されたものの再編集。日本最古の書物「古事記」のうち日向を舞台にした4つのエピソードが、淡彩を基調とした丹念な描き込みによってアニメーションに蘇る。

2013(ヤマムラアニメーション=NHKエンタープライズ) 監 美 編 山村浩二 監 久保雄太郎、牧野惇 監 上野耕路 監 明石勇、遠藤ふさ子

five fire fish(2分・DCP・カラー)

iPadアプリ「McLaren's Workshop」のデモンストレーション映像として制作した短篇。ノーマン・マクラーレンの実験的な技法に倣って自作する、同アプリ内のコンテンツ「Etching on film」で即興的に創り上げた。

2013(ヤマムラアニメーション) 監 山村浩二

鐘声色彩幻想(4分・DCP・カラー)

マクラーレンの生誕100年を記念し、『色彩幻想』(1949)の抜粋を用いて制作。券売機用のロール紙にドローイングし、画面構成と色彩で音楽のリズムを表現する「視覚的音楽」を構築した。

2014(ヤマムラアニメーション) 監 デザイン 山村浩二、Sanae モーリス・ブラックバーン、エルドン・ラスバーン

怪物学抄(6分・DCP・カラー)

中世ヨーロッパの怪物学者による公文書という設定で、怪物たちのショーが展開される。その怪物たちは、山村いわく「不気味だけど憎めない奴ら」「限りなく人間的」「まるで隣人たちを見ているよう」。

2016(ヤマムラアニメーション) 監 美 編 原 画 山村浩二 監 ゲオルク・フリードリッヒ・ヘンデル 監 アレンジ 冷水ひとみ

干支1/3(2分・DCP・カラー)

トロント・リールアジア国際映画祭の20周年記念で制作した作品。60を周期とする干支の要素を夢幻自在に変形させながら20年の歴史をたどる。

2016(ヤマムラアニメーション) 監 山村浩二 監 冷水ひとみ

サティの「パレード」(14分・DCP・カラー)

サティ、コクトー、ピカソが生み出した超現実的パレエ「パレード」をアニメーションで再現。サティが音楽を担当したルネ・クレールの「幕間」(1924)なども引用されている。

2016(ヤマムラアニメーション) 監 山村浩二 監 デザイン エリック・サティ

水の夢(11分・DCP・カラー)

現代音楽の作曲家ジョージ・クラムの曲へのオマージュとして、原始の海での生命の誕生から鯨までの進化を映像と音楽で表現する。

2017(ヤマムラアニメーション) 監 山村浩二 監 カトリーヌ・ヴェルヘルスト

ゆめみのえ(10分・DCP・カラー)

Dreams into Drawing(10分・DCP・カラー) 上田秋成の『雨月物語 夢窓の鯉魚』から着想を得て、欽形憲斎がうたた寝する間に見る不思議な夢を、彼の絵手本『鳥獣略畫式』、『人物畧畫式』をモチーフにした描線で描く。英語音声版と併映。

2019(ヤマムラアニメーション) 監 美 編 山村浩二 監 上田秋成、欽形憲斎 監 矢野ほなみ 監 シジジーズ 監 塚家圭史、ロバート・キャンベル(英語音声版)

5 8/11(金)16:40 8/19(土)13:30 8/27(日)13:30

2020年代—長篇アニメーション

(計71分)

90年代以来、山村は再びこどものためのアニメーション「ホッキョクグマすっごくひま」を制作。その後、フランスのアニメーション・スタジオとの共同制作により、初の長篇『幾多の北』が完成した。また他の監督のプロデュースも開始し、2023年1月から『幾多の北』と3つの短篇と銘打ち4K DCPで劇場公開した。

ホッキョクグマすっごくひま Polar Bear Bears Boredom(7分・DCP・カラー)

12-13世紀の制作とされる、動物を擬人化した絵巻物「鳥獣人物戯画」から想を得た作品。水墨画風の柔らかなタッチの映像とともに日本語と英語でそれぞれ韻を踏むという言葉遊びが展開される。

2021(ヤマムラアニメーション) 監 美 編 山村浩二 監 CASIO トルコ温泉

幾多の北(64分・DCP・カラー)

漠然とした不安を抱く人間社会の有様を冷徹かつ戲画的に描いた山村の最新作。不穏な空気の漂う力強くも繊細な絵に、音楽や効果音、旧字を織り交ぜた中間字幕を渾然と体感させる新境地のアニメーション。

2021(ヤマムラアニメーション=MIYUプロダクション) 監 美 編 山村浩二 監 矢野ほなみ、中田彩都 監 ウィレム・プロイカー 監 演出 笠松広司

6 8/13(日)16:10 8/18(金)13:30 8/26(土)13:30

連句アニメーション 冬の日 芭蕉七部集より(39分・35mm・カラー)

松尾芭蕉の『冬の日』を題材にした35人のアニメーション作家による連句アニメーション。姉が妹に肩を置いてあげる場面、山村は「ヴィーナスの誕生」の世界を換骨脱胎している。

2003(MAGICAエンタテインメント=電通テック) 監 アニメーション作家 川本喜八郎(アニメーション作家) 山村浩二 監 他 渡辺晋一郎 監 古竹範子、三谷昇、岸田今日子

冬の日の人たち(66分・35mm・カラー)

『冬の日』の制作過程を追った長篇ドキュメンタリー。

2003(MAGICAエンタテインメント=電通テック) 監 和田敏克 監 吉村隆 監 山村浩二 監 他

山村浩二(アニメーション作家・絵本作家)

1964年生まれ。小学生時代に披露した落語「寿限無」の「やぶらこうじのぶらこうじ」がもとでついた渾名は「ぶらこうじ」。中学生時代からユーモア溢れる作品を手がけ、1987年に東京造形大学卒業。同年ムクオスタジオに入社し、椋尾肇からアニメーション美術を学ぶ。同社退社後にフリーとなり、90年代には『カロとビョウブ』、『バクシ』などこども向けの作品を制作。『頭山』が第75回アカデミー賞にノミネート、アヌシー、ザグレブ他6つのグランプリを受賞、「今世紀100年の100作品」の1本に選出される。世界4大アニメーション映画祭すべてでグランプリを受賞した唯一の監督である。川喜多賞、芸術選奨文部科学大臣賞、クリングゾール賞受賞、紫綬褒章受章。映画芸術科学アカデミー(米)会員、ひろしま国際平和文化祭メディア部門ディレクター。東京造形大学客員教授、愛知県立芸術大学客員教授、東京藝術大学教授。



アニメーション作家 山村浩二

Koji Yamamura Retrospective

8月	11	13:30	② 1990年代—こどものためのアニメーション (計84分)	16:40	⑤ 2020年代—長篇アニメーション (計71分)
	12	13:30	① 1979-80年代—学生時代★山村監督トークあり(約35分) (計103分)	17:00	④ 2010年代—短篇アニメーションの多様性 (計86分)
	13	13:30	③ 2000年代—大人が楽しむ短篇アニメーション (計56分)	16:10	⑥ 連句アニメーション 冬の日 芭蕉七部集より 他 (計105分)
	18	13:30	⑥ 連句アニメーション 冬の日 芭蕉七部集より 他 (計105分)	16:40	③ 2000年代—大人が楽しむ短篇アニメーション (計56分)
	19	13:30	⑤ 2020年代—長篇アニメーション (計71分)	16:40	① 1979-80年代—学生時代★山村監督トークあり(約35分) (計103分)
	20	13:30	② 1990年代—こどものためのアニメーション (計84分)	16:30	④ 2010年代—短篇アニメーションの多様性 (計86分)
	25	14:00	③ 2000年代—大人が楽しむ短篇アニメーション (計56分)	16:40	① 1979-80年代—学生時代★山村監督トークあり(約35分) (計103分)
	26	13:30	⑥ 連句アニメーション 冬の日 芭蕉七部集より 他 (計105分)	16:30	④ 2010年代—短篇アニメーションの多様性 (計86分)
	27	13:30	⑤ 2020年代—長篇アニメーション (計71分)	16:30	③ 2000年代—大人が楽しむ短篇アニメーション (計56分)

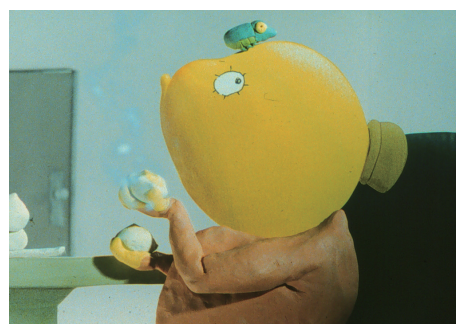
■各日11:00に開館します。



お屋



年をとった鱈



パクン 第13話 まんじゅう
© Koji Yamamura / DOUZU / NHK-ED / NHK-SW

▶ チケット購入方法

	一般	高校・大学生・65歳以上	小・中学生	障害者手帳をお持ちの方(付添者1名まで)・キャンパスメンバーズ
チケット料金	520円	310円	100円	無料
オンライン販売	各上映日の3日前正午から各上映回の開映15分前まで			
窓口販売	各上映回の開映1時間前から5分前まで若干数販売(席座選択不可)			

- * 電子チケットは、当館HPより公式チケットサイトにてオンライン販売します。
- * 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。
- * 窓口でご購入いただける当日券は各回1名につき1枚のみです。
- * 学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。

- * 未就学児、優待の方は「障害者手帳をお持ちの方または付添者」をお求めください。

▶ 入場方法

- * 開場は開映30分前です。
- * チケットのQRコードをスマホ画面、または印刷紙面でご提示ください。特集名、作品名はチケットに表示されませんので、お間違いのないようご注意ください。
- * 各回の開映後の入場はできません。予告篇はございません。

展示室(7階)

【企画展】

常設展「NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史」も併設されています。

月丘夢路 井上梅次 100年祭

Yumeji Tsukioka and Umetsugu Inoue at their Centenary

2023年8月22日(火)―11月26日(日)

* 月曜日および9月5日[火]―8日[金]、9月26日[火]―10月1日[日]は休室

主催: 国立映画アーカイブ

特別協力: 一般財団法人 井上・月丘映画財団

宝塚歌劇団から映画界入りし、美貌と演技力を併せ持つ名優として活躍した月丘夢路(1921-2017)。フリーの映画監督として各社で快作を連打し、香港映画界にも招かれた井上梅次(1923-2010)。日本映画史上稀にみる夫妻の生誕100年を記念して、秘蔵資料を一挙公開します。

開室時間: 11:00-18:30(入室は18:00まで)

料金(常設展・関連企画共通)=一般250円(200円) / 大学生130円(60円) / 65歳以上・高校生以下及び18歳未満・障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料
*()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。

* 当館が主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

* 会期および開館時間等に変更がある場合はホームページでお知らせします。

* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。

【関連上映企画】

月丘夢路 井上梅次 100年祭

Yumeji Tsukioka and Umetsugu Inoue at their Centenary

2023年10月31日(火)―11月26日(日)

* 詳細はホームページをご覧ください。

常設展ギャラリートーク

原則として毎月第一土曜日

8月5日、9月2日

* 詳細はホームページをご覧ください。

企画上映情報

逝ける映画人を偲んで 2021-2022

In Memory of Film Figures We Lost in 2021-2022

【第1期】2023年7月4日(火)―9月3日(日)

【第2期】2023年10月10日(火)―22日(日)

* 会期中の休映日: 月曜日および10月13日(金)、14日(土)

会場: 長瀬記念ホール OZU(2階)

* 詳細はホームページをご覧ください。

1階受付では、「NFAJニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用ください。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分

東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分

JR東京駅八重洲南口より徒歩10分

* 上映をご覧になるお客様へ: チケットをお持ちのお客様も、開映後の入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600

ホームページ: www.nfaj.go.jp

Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR

Instagram: nationalfilmarchiveofjapan



表紙: (左上から)『台所会議』、『オーム博士星へ行く』、『ひゃっかずかん』、『カフカ 田舎医者』、『頭山』、『カロとビヨブト サンドイッチ』制作中の山村監督、『ホッキョクグマすっごくひま』、『こどもの形而上学』、『幾多の北』、『サティの「バラード」』